

図1-2-3-2 65歳以上の認知症患者の推定者と推定有病率

長期の縦断的な認知症の有病率調査を行っている福岡県久山町研究データに基づいた、

- ・各年齢層の認知症有病率が、2012年以降一定と仮定した場合
- ・各年齢層の認知症有病率が、2012年以降も糖尿病有病率の増加により上昇すると仮定した場合

※久山町研究からモデルを作成すると、年齢、性別、生活習慣（糖尿病）の有病率が認知症の有病率に影響することが分かった。本推計では2060年までに糖尿病有病率が20%増加すると仮定した。

	平成24年 (2012)	27年 (2015)	32年 (2020)	37年 (2025)	42年 (2030)	52年 (2040)	62年 (2050)	72年 (2060)
各年齢の 認知症有 病率が一 定の場合								
(人数)	462	517	602	675	744	802	797	850
(率)	15	15.2	16.7	18.5	20.2	20.7	21.1	24.5
各年齢の 認知症有 病率が上 昇する場 合								
(人数)	462	525	631	730	830	953	1016	1154
(率)	15	15.5	17.5	20	22.5	24.6	27	33.3

資料：「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学二宮教授）より内閣府作成